

テーマ

伝えようふるさとの魅力新佐田音頭の復活事業

事業実施地区（中学校区名）	出雲市立佐田中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	須佐コミュニティセンター 窪田コミュニティセンター

テーマの背景

昭和49年に作成された「佐田音頭」は、昭和57年に「新佐田音頭」として再編され、小中学生が運動会で踊ったり、女性グループ中心に広く親しまれ、町民体育会でも踊られたりするなどして佐田地域に普及していた。しかし、近年、学校への指導者がなく、踊りを見る機会はなくなっていた。

佐田に生まれ育つ子どもたちが佐田の魅力を表現した「新佐田音頭」を、保育所から中学校を卒業するまでの長きにわたり踊ることを復活させることで、これに関わる大人もともにふるさと「佐

実際の取組

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：新佐田音頭の復活発表

<取組の概要>

佐田地域の保育所、小学校、中学校の全児童・生徒を対象に「新佐田音頭」踊りを復活させ、地域での発表の場を設ける。合わせて地域住民にも輪に加わってもらうことで地域の一体感の醸成を目指す。

(1) 佐田地域学校運営ブロック協議会で取組を説明し同意を得た。

※保育所、小学校、中学校すべてでの取組となった。

(2) 音源と講師を探し出し、CD・DVDを作成

(3) 地域で活動するグループに協力要請をし、指導者を養成

(4) 指導者、コミセン職員が各学校保育所に出かけ練習指導

(5) 踊りの発表（復活）

①各学校保育所の運動会

※地域住民を含め盛大に成果発表ができた。

②11月に開催された佐田町文化祭のオープニングイベント

※児童生徒、地域住民で踊り、総仕上げとした。

～公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業～

公民館ふるさと教育推進事業 取組事例



振り付け撮影



作成した DVD・CD



指導者養成講習



中学校での練習



小学校本番発表



文化祭での発表

<成果と課題>

地域で作成され、歴史のある「新佐田音頭」踊りの復活を中学校区の子ども、保護者、佐田自治協会で連携して取り組むことで、佐田地域全体に広がり、高齢者もかつてを思い出し、一緒にできたことは、佐田地域の一体感創出に繋がり当初の目的は達成できた。

参加者からは、「歌詞は佐田の魅力をうまく表現しており、踊りは自然、神話、地域の思いが込められているとはすばらしい。しっかりと覚えました。」

「ふるさと佐田らしさを表現でき嬉しい。後輩にしっかりと伝えていきたい。」

「歌詞をしっかりと聞いてみると、佐田の魅力をしっかりと取り入れられていて改めて感動した。」

「佐田の住民の一体感が増して、今後の地域づくりにつながるきっかけづくりとなった」など沢山の感想が寄せられた。

今後、活動を継続していき、地域の一体感を愛着の中で強め、少子高齢化の進行に歯止めのかからない佐田地域からの脱出策の足掛かりとなることを期待したい。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

過去に聞いた地域の魅力を唄った「新佐田音頭」をテーマにしたことで、懐かしむ大人から、新鮮に感じる子どもたちまで、幅広くふるさとを見つめ直し、つながりを持つことができた。事業に取り組むに当たって、中学校区で組織する地域学校運営ブロック協議会に諮り賛同を得て、佐田自治協会にも趣旨説明をし、同意を得て、地域全体での取組とした。

現場での指導体制の充実に加え、地域に関わる人材に活躍してほしいと考え、地域内で活動する舞踊団体に協力を依頼し、指導者講習を行ったうえで、現場指導に主力として当たっていただいた。

今後の展望

子どもたちには、保育所から中学校を卒業するまでの間「新佐田音頭」に関わることで、ふるさとへの愛着と誇りを生涯持ち続けてほしい。

この取組によって、世代を超えて地域全体で一体感が醸成された。こうした取組を続ける中で、地域を考え、ともに話し合う取組を進めていきたい。